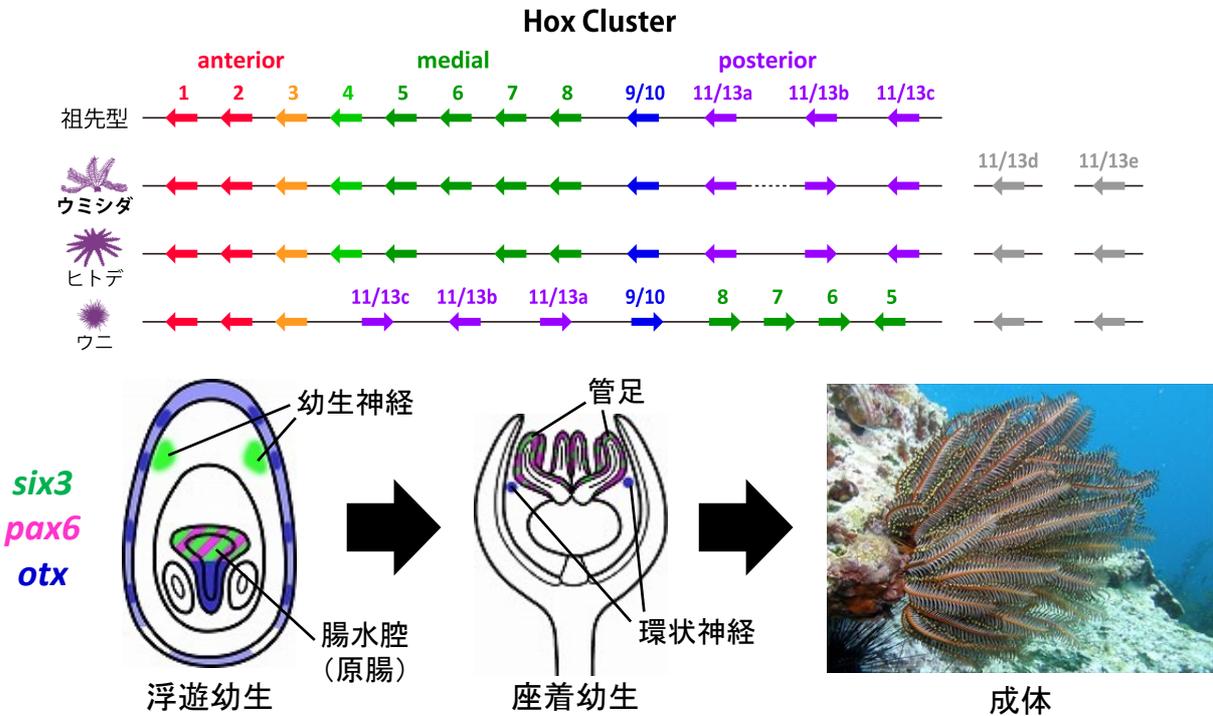


第134回 理学部コロキウム

ウミユリ類より体制の進化を探る

佐渡自然共生科学センター 臨海実験所 大森 紹仁



日時：10月26日（木）16:30～17:40（紹介・質疑応答含む）

場所：理学部B棟303講義室

海産無脊椎動物の一動物門である棘皮動物は、脊椎動物などと同じ新口動物でありながら、ヒトデに代表されるような五放射相称（五角形や星形など）の変わった体制を示します。この五放射相称の体制は、他の多くの動物で見られる左右相称の体制が変化することで獲得されたと考えられていますが、なぜどのようにしてこの変化が起きたのかは未だ明らかになっていません。ウミユリ類は現生棘皮動物の中で最も祖先的とされるグループです。ヒトデやウニが退化させ失った形態的特徴を残しますが、実験生物としての扱いやすさ等の問題で、その進化発生学的な研究は未だ発展途上です。本講演では、ウミユリ類を用いた体制進化の研究の現状について、他の新口動物との比較を交えながら解説します。

問い合わせ先：長束俊治 (natsuka@bio.sc.niigata-u.ac.jp)